

はじめに

この本は2000年度に行われる「高エネルギー加速器セミナーOH02000」の講義録です。

今年のテーマは「加速器のビーム特性を決める物理」ということで、加速器でビーム性能を達成する途上に在る様々なビーム物理学的問題を取り上げます。

本年の講師陣は、加速器試験施設ATFで超低エミッタンスビームの実現を目指している久保浄さんと奥木敏行さん、究極の高ルミノシティを追求するBファクトリーでコミッションを担当している大西幸喜さん、モニターでビームの振る舞いを観測するエキスパート家入孝夫さん、そしてハイパワービームのフロンティアを開拓する大強度陽子加速器計画で加速器設計を担当する町田慎二さん、と言う方々です。講師の皆さんが現在担当している加速器の特徴を背景に、それぞれに特色有る講義をして頂けるでしょう。

例年このセミナーは（財）高エネルギー加速器科学研究奨励会の主催により行われています。本年7月に事務局長が、永年勤められた梅原啓輔さんから仲澤宏さんへとバトンタッチされました。今回のセミナーは新旧の事務局長と斉藤さんに色々お世話になりながら開催されます、ここで深く感謝致します。

講師の方々には多忙な研究活動の傍ら講義録の準備をして頂き、特に篤くお礼申し上げます。

2000年8月

OH02000 世話人 鎌田進

（付記）

高エネルギー加速器セミナーOH0シリーズの講義録バックナンバーは（財）高エネルギー加速器科学研究奨励会（eメール：<kimie@post.kek.jp>、fax：0298-79-6138）から購入できます。